

working together
for a brighter future

©MIYAMOTO
Research Office



先進工業国における 若者の変容

KEYWORD 若者 雇用 家族
シティズンシップ 若者政策

ポスト工業化をはじめとする社会経済構造が、大人になる意味と過程にどのような影響を及ぼしているかについて研究しています。特に、学校や労働市場で困難に直面している子どもや若者にフォーカスしています。

若者の社会参画・ 意思決定への参画・ シティズンシップ

KEYWORD 若者 社会参画
シティズンシップ

若者の自立と社会参画（とくに意思決定への参画）は、先進工業国の重要なテーマとされています。日本では成年年齢を18歳に下げることが決まったにもかかわらず、若者の社会参画は進まず、社会政策としても取組としても遅れている状況です。その実態と若者政策の見直しをしています。

ごあいさつ

私は、現代社会の諸問題に関心を寄せて研究をしてきた社会学者です。ポスト工業化をはじめとする社会経済構造が大人になる意味と過程にどのような影響を及ぼしているかに関する研究（若者研究）や、生活困窮者の生活実態と社会政策に関する研究（貧困・生活困窮者研究）を主に手がけてきました。とくに、就職氷河期やリーマンショックによる若者の非正規労働者化や無業者化をずっと追ってきました。近年は、子どもをもつ世帯やシングル女性の貧困と社会的孤立にも関心を寄せ、政策立案にも深く関与しました。私の研究領域は大きく4つに分類されます。

生活困窮者の 生活実態と社会政策

KEYWORD 生活困窮者 生活実態
社会政策

“失われた20年”で、低所得と社会的孤立に陥る人々が増加し、社会格差が拡大しています。また、新型コロナ禍で加速することが危ぶまれています。このような関心にもとずき、非正規雇用者、シングルマザー、高齢者、未婚女性などの生活困窮を対象として研究をしています。

増加する未婚者の 生活実態と将来予測

KEYWORD 未婚者 一人暮らし
親元同居

結婚しない人々が増加し、親と同居する未婚の若者が増加しているだけでなく、中年期に親と同居を続ける人々、ひとり暮らしする人々の両方が増加している。そこに着目し、東京23区をフィールドにする、中年単身者の生活実態と将来予測に関する調査研究



宮本みち子
Michiko MIYAMOTO

放送大学名誉教授
千葉大学名誉教授
社会学博士

